

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	その他
	事務事業	高松丸亀町商店街再開発事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用による都市機能の集積を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき高松丸亀町商店街において、商業・サービス業の魅力強化と効果の波及や来街者の回遊性向上、まちなか居住の促進に資する市街地再開発事業等を推進する。				
2年度概要	大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援（H31繰越） 大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援 事務費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	高松丸亀町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	丸亀町商店街において、再開発事業を推進することで、商店街のにぎわい創出を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金の交付件数	件	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
丸亀町商店街の通行量	人	目標値	36,500	36,500	36,500	36,500	36,500
		実績値	31,612	39,978	36,796		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市街地再開発事業の実施により、商店街のにぎわい創出につながり、丸亀町商店街の通行量が増加した。 (目標達成度)						(達成度) 100.8%	
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	10,854	42,797	75,105	617,366
（事業費）	[円]	80	25,404	57,653	598,244
（職員人件費）	[円]	10,774	17,393	17,452	19,122

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
昨年度は実施設計及び権利変換計画作成に着手し、実施設計が完了した。補助事業の着実な進捗管理を行うとともに、再開発組合に適切な指導・助言をする必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
繰り越した権利変換計画作成の年度内完了及び今年度着手予定の除却工事の着手に向けて、国及び県と連携しながら、補助事業を進めていく。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	民間企業
	事務事業	南部3町商店街における優良建築物等整備事業		事業期間	平成30年度～令和4年度

【事業全体概要】

事業の概要	街なか居住を促進するための共同住宅を整備するとともに、立地適正化計画に基づく都市機能誘導施設となる診療所や、一時預かり等の子育て支援施設など、街なか居住の利便性を向上させる施設を整備する。
-------	--

2年度概要	常盤町地区優良建築物等整備事業に関する指導・支援 常盤町地区優良建築物等整備事業に関する指導・支援（H31繰越）
-------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	南部3町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	優良建築物等整備事業の実施により、まちなか居住を促進し、商店街の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金の交付件数	件			1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値			7.9	39.1	39.1
			実績値			6.7		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 優良建築物等整備事業の実施により、街なか居住の利便性が向上し、中心市街地が活性化 する。 (目標達成度)							(達成度) 84.8% 29点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]			54,900	248,327
（事業費）	[円]			42,000	234,820
（職員人件費）	[円]			12,900	13,507

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は実施設計及び解体工事に着手し、実施設計が完了した。補助事業の着実な進捗管理を行うとともに、民間事業者に必要な指導・助言をする必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

繰り越した解体工事の年度内完了及び今年度着手予定の施設建築物工事の着手に向けて、国及び県と連携しながら、補助事業を進めていく。